

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕 事 の 内 容	備品管理事務					
担当部署・課長名	会 計	課	出 納	係	課長名	川口 荘一

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	行 - 2	-
【施策名】 効果的でスリムな行政運営の実現	総 合 計 画 書 (ページ)	122	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5	会計事務費	事業 1	会計事務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	------	-------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 主管課で備品の購入等（登録・返納・所管換え）を行った場合に、会計課で備品登録システムによる処理を行う。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 備品総数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 備品の増減について適切に管理する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 主管課から依頼（登録・返納・所管換え）のあった件数
	③ そのために何をしましたか。 主管課で購入等を行った備品等を、備品登録システムにより処理（データ管理）する。	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 備品増減の処理件数

2 指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	件	9,277	9,282	9,253	/
	成果指標	②の数値	件	524	371	495	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	各課から提出される申請件数の結果なので目標設定にはなじまない。				
活動指標	③の数値	件	524	371	495	/	

3 経費	事 業 費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財 源	一般財源	円				
		特定財源	円				
		（うち受益者負担）	円				
	人 件 費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400	
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	826,700	825,300	824,400		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	市の裁量は大きい
	市が購入等を行った備品を適切に管理するために開始した。備品を取り扱う上で、物品の耐用年数と価格で基準を設け、登録等の処理を行っている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	平成22年度より、基準金額を10,000円から30,000円に変更し、システム導入に併せて事務処理も一部変更した。

仕 事 の 内 容	備品管理事務				
担当部署・課長名	会計	課	出納	係	課長名 川口 荘一

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし。				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
特になし。					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 平成22年度に財務会計システム及び備品管理システムが導入され、併せて備品の価格も変更したことにより、人件費等の削減につながった。今後も価格や事務処理方法の見直しを定期的に行っていく必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	特になし。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
特になし。					
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	特になし。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
特になし。					
(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。